

報道関係各位

丸善雄松堂および米国子会社 Maruzen International Co., Ltd. 米国内の学習者向け日本語電子教材の販売サイトを開設

～丸善雄松堂の電子教科書閲覧サービス「Maruzen eText Service」の海外展開開始～

丸善雄松堂株式会社(本社:東京都港区、代表者:代表取締役 矢野正也/以下、丸善雄松堂)は、この度、丸善雄松堂の海外事業活動の一環として、米国を拠点とする子会社 Maruzen International Co., Ltd.(米国ニュージャージー州/以下、MIC)が運営する米国内での日本語教育用電子教科書の販売サイトを開設いたしましたことをお知らせいたします。

(<https://textbooks.maruzen.info/>)

背景

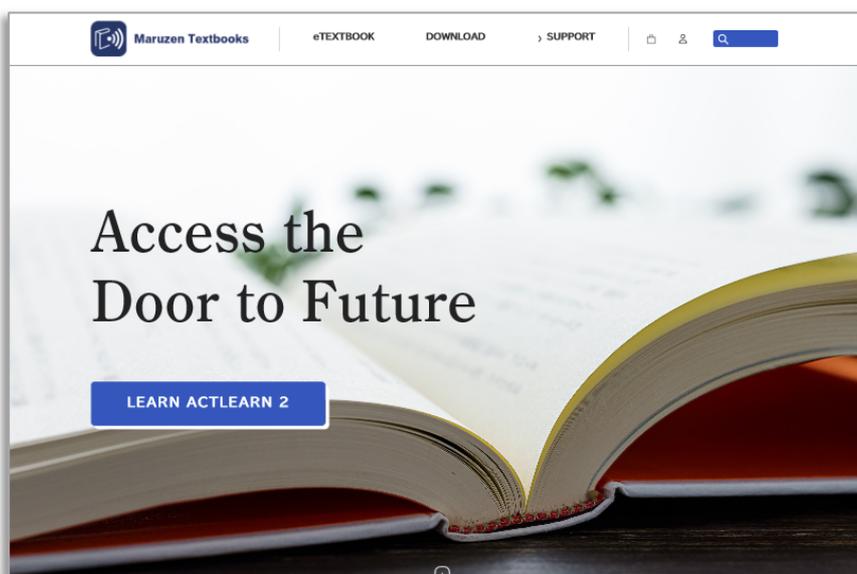
近年、教科書を含む教育・研究用の書籍は、その利便性の高さから電子版での購入・利用を求める声が国内外を問わずニーズが高まっています。また、米国でも数多くの高校生や大学生が日本語学習に取り組んでいますが、2020年以降の新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、従来の日本語学習の主流であった冊子体書籍の運送・流通が不安定になったこと、日本で運営する販売サイトから電子教科書を簡便に購入することはできないという事情もあり、これまで以上に米国における日本語教育用の電子教科書を入手したいという声が高まっていました。

こうしたニーズを受け、丸善雄松堂が国内出版社との電子化交渉および米国での販売に関する許諾調整を行い、MICと連携して今回の販売サイト開設の準備を進めてまいりました。

今回開設された販売サイトについて

この販売サイトは、米国子会社であるMICが運営しているため、同国のビジネス上の枠組みのもとで、かつドル通貨決済で日本語の電子教科書を即座に購入できるようになった、米国内では初の日本語教育用電子教科書の販売サイトです。

この販売サイトの電子教科書は、丸善雄松堂の電子教科書の閲覧・活用サービスで、今回の販売サイト開設と同時に海外向け展開を開始した「Maruzen eText Service(※)」を通じて購入できます。



この「Maruzen eText Service」により学習者は利便性が高い付加価値を有する状態で閲覧・活用ができます。

なお、販売サイト開設時点では、日本語教育向けの教科書シリーズである『初級日本語 とびら』(くろしお出版)、『初級日本語 げんき 第3版』(ジャパントイムズ出版)が販売されています。今後は提供タイトルを拡充し、より幅広いニーズに応えてまいります。

※ 「Maruzen eText Service」について

「Maruzen eText Service」は、丸善雄松堂が運営する電子教科書・教材の配信、閲覧、利用サービスで、日本国内では大学や高専などの高等教育機関を中心に約 200 機関で採用され、提供しています。そのビューアアプリとして、丸善雄松堂の親会社である大日本印刷株式会社が開発・提供する電子教科書・教材配信システムのアプリ(ビューア)をダウンロードすることで利用可能となります。

基本機能として電子教科書への書き込み、ハイライト、しおり、検索などが備わっているほか、電子ならではの特性を活かして、教科書に関連する動画や音声へのリンク機能も備わっています。特にこうした動画や音声の即時的な参照機能は、語学教育においては大きな効果を発揮します。さらに、このサービスは購入した電子教科書を端末にダウンロードして利用すれば、インターネットにアクセスのできない環境でも学習が可能です。PC、タブレット、スマートフォンなどの多様な端末で利用可能であり、学習者が保有する複数の端末間でコンテンツの同期もできることから、勉強する場所によって異なる端末を使う場面であっても同じコンテンツを閲覧、活用できます。

「Maruzen eText Service」は、日本国内の大学などの高等教育機関では、すでに多様なタイトルラインアップを有していますが、未提供のタイトルであっても教員のリクエストに応じて、丸善雄松堂のスタッフが出版社に新たに電子化許諾の交渉を行って提供できるようにするほか、教員のオリジナル教材もアップロードすることも可能です。そして購入した複数の電子教科書をサムネイル表示して活用できるなど操作にもストレスがかかりません。

今後の展開

現在、高等教育機関のみに対象を絞っても、米国には約 1,300 機関、15 万 6 千人、全世界では 13,000 機関、300 万人の方々が日本語学習に取り組んでいるとされています。(国際交流基金『海外日本語教育機関調査』2018 年度版)

また丸善雄松堂は、これまでも海外の教育・研究機関向けの各種資料の輸出事業、あるいは 2013 年より図書館総合展運営委員会との共催で、海外の図書館や関係機関を訪問するフィールドワーク型研修事業などを通じて、米国、欧州、アジアなどの大学・公共・専門・企業・修道院図書館とのリレーションを有しています。

今回の日本語教育に関わる電子教科書の販売サイトを通じて、従来の機関向け(BtoB)のサービスや交流にとどまらず、教員や学生の方々をはじめとする個人の方々向け(BtoC)に直接的な接点を持ちながら、米国での日本語教育向けの電子教科書販売の拡大展開はもとより、さらに他の国・地域、分野への幅広い教育活動に貢献する事業を展開していくことを目指します。

参考情報

● 丸善雄松堂について <https://yushodo.maruzen.co.jp/>

丸善雄松堂は、大学をはじめとする全国の教育・研究機関への学術資料の提供や学習空間・商空間のプロデュース、図書館など教育機関・文化施設の運営支援等の事業を通じ、150年以上にわたり、日本の教育・科学・文化の発展に貢献してきました。

現在、こうした知見をもとに、地域や社会に広がる「まなびのつながり」を育み、人びとの持続的なまなびを促進する環境づくりを支援しています。

さらに、こうした「まなびのつながり」を国内にとどめることなく、海外に向けても広く拡大していくことを通じて、国内外におけるより豊かな社会・文化的環境の実現に貢献していくことを目指します。

※2016年2月に丸善(株)(1869年1月創業)と(株)雄松堂書店が経営統合し、丸善雄松堂(株)になりました。

● 丸善雄松堂の海外事業について

教育・学術市場における学術情報提供事業を行う丸善雄松堂は、海外からの輸入事業に並行し、日本最大規模を誇る学術・教育機関向け電子書籍サービス「Maruzen eBook Library」やその他のデータベース、電子ジャーナルをはじめとする日本の学術資料・情報や独自開発コンテンツの輸出事業を展開しています。丸善雄松堂では、これらの事業を通じて培った海外教育機関との連携により、今回の販売サイトの開設に合わせて「Maruzen eText Service」の仕組みを海外向けに展開を開始しました。

● Maruzen International Co., Ltd.(MIC) について

MICは、米国ニュージャージー州に拠点を置く、丸善雄松堂の100%子会社です。

日本向けに外国雑誌などのコンテンツの輸入をサポートする他、米国出版社との日本向け条件交渉などを行う事業を行っています。またその一方で、丸善雄松堂と密接に連携しながら、米国を中心とする欧米の教育・研究機関や学生向けのサービス展開も拡大しています。

本件問合せ先

丸善雄松堂株式会社
事業企画推進室 大熊
E-MAIL: BizDev@maruzen.co.jp

丸善雄松堂に関する問合せ先

丸善雄松堂株式会社 経営管理部 川澄
TEL: 03-6367-6006 FAX: 03-6367-6153
E-MAIL: my_cc@maruzen.co.jp